

2022年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名【和歌山認定こども園】

自己評価の観点	前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている		B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している		A
評価の根拠 毎年話し合い実践しようとしている、話し合いが出来ていない内容もあるので取り組んでいきたい。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B	B
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B	B
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	B
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	B	B
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	B	B
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	B	B
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	B
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	A
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B	B
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	A
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 往還型研修、公開保育をきっかけに、今まで以上に保育士同士が語り合う場面が増えた。保育士自身が楽しめている。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
・コロナウイルス感染症予防もあり、特心掛けている。 評価の根拠 ・リスクマネジメントの観点から一人一人の気づきが必要なので、ヒヤリハットや事故報告から、意識を高めていきたい。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	C	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	B	B
評価の根拠 コロナ禍、出来る範囲で参加開催できるよう検討した。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B	B
② 旬のものと季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	C	C
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	C	C
・今後食文化を伝えるような場があると良い。 評価の根拠 ・保育士と調理員とのコミュニケーションを増やし食育を実施したい。今は市の献立であり工夫しているとはいえない。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	B	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
・会議の回数多くなり、会議が重なるときもあるが、必要な会議なので、出来るだけ時間内に終われる工夫をしながら行っていきたい。 評価の根拠 ・必要と感じた話し合いの定着と継続。		

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		B	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		A	B
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		B	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		B	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている		B	B
評価の根拠	・出来ていることが多いが、日々の室内衛生や掃除に関して一人一人が意識していくことが大切。 ・避難訓練に関しては、実施しているがマンネリ化しているところもあるので、内容や方法など工夫していきたい。		
8. 研修について			
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		A	A
② 研修報告を園内で実施している		B	B
評価の根拠	・時間の問題があるが、復命書だけでなく研修後の報告する場を増やしていきたい。 ・部内部外とも様々な研修に参加できているが、研修後、すべて水平展開が出来ているとは言えない。		
9. 情報について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している		A	A
評価の根拠	書類の保管管理、守秘義務の徹底を行っている。		
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		B	B
評価の根拠	施設点検（毎日チェック、毎月チェックと年3回チェック等）を行っている。 掲示板は活用しているが、日々の保育内容の発信に今後も工夫やアイデアをだしていきたい。		
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている		B	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		B	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		B	B
評価の根拠	今年度は参観日を設け子どもの様子を見てもらうことができたが、 保護者に保育を理解してもらうという点では工夫がもっと必要。（主体的な活動と子どもの育ち）		
12. 開かれた保育所づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		A	A
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している		B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している		B	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている		B	A
評価の根拠	地域の子育て中の親子が集える場を設け（子育て支援）アドバイスも行っているが、 コロナの影響で全面的な開放とはいかず、充実しているとは言えない。		
13. 情報発信について			
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている		B	B
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している		C	C
評価の根拠	コロナ禍で小学校と交流は最低限となっている。今後は再開していきたい。		
14. 人権擁護について			
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている			B
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている			B
評価の根拠	自分たちの保育や言動の振り返りを今後も定期的に行っていきたい。		
15. 総括			
年間をととしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。			
・自己評価をととして、前年度よりも改善・充実した点 公開保育をきっかけに保育のあたりまえや固定観念を見直すことができた。 ・ドキュメンテーションなどによる保育の見える化については今年充実したと感じる。 ・行事についてはどうすれば開催できるのか工夫しながら実施でき、今年の課題であった保育参観も実施することができた。			
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点 ・小学校との連携や調理員とのコミュニケーションの評価が低いので課題と感じる。 ・公開保育や往還型研修を通して、保育士間での話し合いが増え共有するようになってきたが、今後も続けて行くために時間や共有する方法の工夫を行い継続していきたい。			